

東洋の小青竜湯エキス顆粒S

(しょうせいりゅうとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」「金匱要略」に収載されている小青竜湯に準拠して製造されたエキス顆粒剤です。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人：むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人：高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状	関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	消 化 器	悪心、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
肝 機 能 障 害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。

(2) 1カ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談すること

【効能・効果】

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻水、うすい水様の痰を伴う咳、鼻炎。

【用法・用量】

下記の量を食前又は食後に水又は白湯にて服用して下さい。

なお、用時添付のサジ（すり切り1.0g）を使用して下さい。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数	年 齢	1 回 量	1 日服用回数
大人(15才以上)	1.50 g	3 回	7才未満 4才以上	0.75 g	3 回
15才未満 7才以上	1.00 g		4才未満 2才以上	0.50 g	
			2才未満	服用しないこと	

〈用法及び用量に関連する注意〉

(1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

(2) 用法・用量を厳守すること。

【成分・分量】 [本品1日量4.5g中]

日本薬局方 シャクヤク……………1.5g
日本薬局方 カンゾウ……………1.5g
日本薬局方 マオウ……………1.5g
日本薬局方 ケイヒ……………1.5g
日本薬局方 サイシン……………1.5g

日本薬局方 ゴミシ……………1.5g
日本薬局方 ショウキョウ……………1.5g
日本薬局方 ハンゲ……………3.0g
より製した水製乾燥エキス……………2.25g
添加物として、乳糖、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mgを含有する。

保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。

(2) 小児の手の届かない所に保管すること。

(3) 他の容器に入れ替えないこと。

(4) 本剤は生薬を原料としたエキスを用いた製品ですから、製品により色調や味が多少異なることがあります。効果には変わりありません。

(5) 本剤は、吸湿しやすいので、服用後は、フタを固くしめる等密閉して保管して下さい。



【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 06-6211-4976

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先

（独）医薬品医療機器総合機構

電話 0120-149-931

製造販売元

 東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田林市中野町東2丁目1番16号